1977年12月3日第三種郵便物認可（毎月1･2･3･5･6･7の日発行）2018年1月12日発行SSKP通巻6797号

SSKP

はれのちくもり

第９４号

ピアス通信別冊第20号

はれのちくもり別冊ピアス通信では、就労移行支援事業所ピアスの訓練やイベントを中心に、
多摩棕櫚亭協会の「働く」ことに関する情報を皆様に発信していきたいと思っております

東京YMCA学院医療福祉専門学校での講演を終えて

11月17日金曜日、YMCA専門学校で増田さんと一緒に講演に行ってきました。講演の様子は福祉について学ぶ学生18名に対し、90分間の授業の1コマの中でピアスについて、増田さんが説明し、ピアスを利用している私が内容や感想について話をするというものでした。

教室に通され、初めに増田さんがパワーポイントを使用し、学生にピアスの説明をすると、学生たちは熱心に資料へ書き込みをしている姿が印象的でした。次に、私がピアスについて利用するに至った経緯やピアスでの作業のトレーニングのこと、コミュニケーション能力を向上させるCESについての説明をしました。その時、学生は熱心に話を聞いてくれている印象を持ち、真面目に学んでいてくれていると思いました。

最後に、学生全員から一つづつ質問がありました。その質問は増田さんや自分の話をしっかりと聞いていないと出ない内容のものだったので、正直にすごいと感じました。

まとめとして、今回YMCA専門学校に行って講演をした感想としてはとても良かったと思っています。若い学生たちの前で話をしたことは自分の自信につながりました。また、福祉について学ぶ学生達がとても頼もしいと感じました。以上で、私の感想を終わります。ありがとうございました。

（ピアスメンバー　Fさん）

11/17（金）、東京YMCA学院医療福祉専門学校の作業療法士コース２年生の方の授業の1コマで、利用者さんと一緒にピアスの説明をしてきました。学校のある場所は、ピアスの近くで、普段からお弁当も利用していただいているお得意様でもあります。一緒に行ったFさんは、私が説明している途中で突然話を振っても、落ち着いて丁寧にお話をしてくださって、ピアスの様子を具体的に伝えられたかなと思っています。

学生さんたちは熱心に聞いてくださり、終わった後もたくさんの質問がきました。支援を受ける側の生の声をより聞きたいという思いの伝わるものばかりで、一見おとなしそうな学生さんたちの中の熱い思いを感じました。Fさんもそれを感じたのでしょう、自分の話をぜひ、これからの仕事に役に立ててほしいとお話されていました。また、ピアスに通わなければここで話すなんてできなかっただろうともおっしゃっていました。

今回、私にとっても、Fさんにとってもいい経験になったと思います。私は、話の最後に、自分が仕事をしていて大事にしていることをお伝えしました。私は、利用者さんに自信を取り戻してもらうことはもちろんなのですが、その方の尊厳を傷つけないこと、これを大事にしています。また、棕櫚亭の理念を忘れず、その人にとって何が一番幸せなのか（私が一番と思うものではなく）をきちんと知り、その人が一番幸せだと感じることを一緒にめざしたいと思っていることをお伝えしました。私もFさんと同じで、少しでも私たちの話を将来の仕事に活かしてもらえたらなと思いました。

（ピアス職員　増田）

1977年12月3日第三種郵便物認可（毎月1・2・3・5・6・7の日発行）2018年1月12日発行SSKP通巻6797号

就労移行支援の2回目のご利用特集　～不安や疑問の解消に向けて～

今回の特集企画は、ピアス等の就労移行支援事業所を一度卒業し、再度、利用したいという希望がある方や関心がある方に向けて、就労移行支援を2回目に利用することについて、ピアスの現メンバー、OB、ピアス施設長の高橋しのぶさんから、インタビューやアンケートを通して、ご意見やご感想を伺いました。

この企画を通じて、2回目の利用をすることに関しての不安や疑問が解消され、安心して再利用につて考えることができるようになることを願っています。

ピアス２回目をご利用中の現メンバー　アンケート

◆ピアスをもう一度、利用することになった経緯について教えてください。

☆オープナー担当から勧められたため

☆前職で２次障害が出たので、そうなる特性なども知るため

☆昼間の活動先を探していたところ、担当ドクターから紹介されたため
その時は就職というのは頭になく、目先に見えた生活リズムを整えることが目的

☆スタッフを知っていたので安心できたため

☆１回目ピアスを利用して就職した。退職後に通っていたB型の職員に「就労支援が手厚いから」と紹介されたため

◆2回目の利用にあたって、ご自身で前よりも意識していることはありますか？

☆へこまないように心掛けている。当たり前なので、しょうがないと思うようにする

☆前、一緒だったメンバーで様子が変わったと感じる方がいて、心配している。元気を出してほしいと思っている

☆ピアスにいた頃、以前よりも積極的にベテランの人たちのところに入って話をしたりしている

☆積極的・意欲的になろうとしているが、どうしても受け身になってしまいがち。前も受け身だったが、あまり積極的・意欲的になろうとは意識してなかった

☆意見を求められたとき、答えられなくて、頭が真っ白になるが、別の形でなんとか答えようとはしている

◆事務補助が整備されたなど、前回の利用に比べて、ピアスで良くなったところがあれば教えてください。

☆ワークサンプルの基本の中にも日直などの責任がある仕事があること

☆全体的にきれいになって、以前より虫がいなくなった

☆生活訓練があってよかった。就労移行だったら大変だった

☆事務補助が整備された

ピアスOB・Aさん　インタビュー　～ピアス２回目のご利用を振り返って～

Q.1　2回目以降の利用をして、よかったことは何ですか？

A.1　1回目の時には、職場の体験実習をしませんでしたが、2回目では、くにたち苑や企業の体験実習に行くことができ、色々な職種を体験できました。そのため、より自分に合った仕事を考えられたことが良かったです。また、就労プログラムが毎週1回になって、就職に対する心構えや面接の練習を学びました。

Q.2　就職活動において（例えば企業に求める条件など）、1回目と2回目以降で、変わったことがあれば教えてください。

A.2　1回目では、オープンでの仕事を紹介してもらい、就職しましたが、特に希望する条件等はありませんでした。2回目では、様々な実習を通して、お年寄りの方と関わる仕事がしたいと思い、現在の職場に就職することができました。

Q.3　現在、ピアスを2回目以降で利用しているメンバーへのメッセージがあればお願いします。

A.3　働きたい気持ちを忘れずに、体調管理をしながら、なるべく休まず、ピアスに通ってほしいです。また、自分の得意、不得意を知ることと、自分も苦手ですが、人との報連相をしっかりと行うことが大切です。

ピアス施設長　高橋しのぶさん　インタビュー

◆精神障害の雇用が増える中、就労移行を再利用する人は増えているのでしょうか？

そうですね。こちらでは正確なデータは持ち合わせていませんが、増えている傾向にあると思います。

実際にピアスでは、平成20年度～29年度までに、就労移行を2回使った人は11人に上ります。

◆就労移行を2回利用するにあたって、利用できる人とできない人の違いや、住んでいる自治体によっての違いがあれば教えてください。

障害者総合支援法によれば、「就労移行を2度以上使ってはいけない」といったことは、どこにも書かれてはいないんです。人によって利用できる・できないなどの違いもありませんので、ピアスは1度退所してもまた利用できます。

ただ、自治体によっては、条件を設けているところもあります。以前、2回目のピアスを利用しようとした方で、「訓練を受けずにそのまま再就職したらどうか」と、簡単に許可が下りなかった例があります。その時は、なぜ訓練が必要なのかを説明して、最終的には許可を出して頂けました。

◆就労移行を2回利用するメリットとデメリットに分けて教えて下さい。

これは2回目に限ったことではないのですが、就労移行は事業所ごとに、やっていることや支援の仕方等もバラバラなので、前回と同じところにするかどうかを比較検討されて、よりご自身にあった事業所を選べるというメリットはあります。

逆にデメリットとしては、急いで探そうとすると、ご自身に適していない事業所を選んでしまうという危険性もあります。

◆ピアスを2回利用するメリットとデメリットを教えて下さい。

ピアスの場合ですと、2回目を利用した方の中で、前回よりももっと合う職種が見つかった方がいました。その方は、1回目の利用では、にぎやかな職場で働くのが向いていると思って就職して、気疲れから体調を崩してしまわれました。2回目は、そのことを踏まえて利用したので、環境整備のトレーニングで一人でコツコツ任される仕事のほうが体調を崩さずに働けることが分かり、1回目の就職よりも、ずっと長く働いています。

デメリットとしては、たとえば2回使ったけれど、体調の問題もあって、1回目より結果がなかなか出ないときに「なんで2回目を使ってるんだろう？」と納得できない気持ちが生まれてしまったりすると、その場合は、使っていること自体がデメリットになってしまうかと思います。

◆ピアスを再度利用する方に対して、1回目とは違う思いはありますか？

私は、ピアスを利用される皆さんと同じ視点でいられるように、いつも想像力を持ち続けていたいと思っていますし、その想像力は、どの職員にも持っていてほしいです。

だからこそ「前回と同じではないピアス」を提供するために、新しいプログラムはいつでも増やしていきたいという一方で「それがうまくいっているかどうか？」という心配もあります。

2回目の人が、何も気にしないで使っているということはないと思うので、もしも居心地が悪いところがあれば、率直に言ってほしいなと思います。例えば「デリカシーをちょっともってほしい」とか、そういうことを、逆に言って頂きたいです。もしかしたらそこが抜けているところかもしれないですから。

1977年12月3日第三種郵便物認可（毎月1・2・3・5・6・7の日発行）2018年1月12日発行SSKP通巻6797号

お知らせ

新年明けましておめでとうございます。

みなさん、正月はどのように過ごされたでしょうか？正月の風物詩として定着した「箱根駅伝」を観戦された方も多いのではないでしょうか？今回も総合で青山学院が優勝しました。あんなにも長時間、私達がテレビにくぎ付けにされるのは、やはり駅伝に青春をかける学生の姿に、生き生きとした魅力を感じるからではないかと思います。

一方、箱根駅伝選手の卒業後の進路についても、テレビ番組で取り上げられることが多いように感じます。「あれだけ活躍した選手が、残念ながら今は…」と言う論調で語られるのはさみしい思いがします。箱根の山の神と呼ばれ、大学四年間活躍した東洋大の柏原選手も取り上げられることが多いです。彼は数年前に大学を卒業し実業団に入りましたが、その後、怪我が原因で目標としていたフルマラソンでの活躍ができないまま、引退し、その企業のアメフトチームのマネージャーになりました。箱根出場を目指して大学に進学し、目標を達成した選手でさえ、長期的に継続して活躍するのは大変なことです。

この文章を書いていて、ふと、ピアスの就職者の方の事を考えてみました。一生懸命努力して晴れて目標を達成し就職するのは、箱根駅伝の舞台に立つように素晴らしいことです。しかし、その後の継続は、柏原さんの例を出すまでもなく大変なことなのです。

ピアスでは、就職した皆さんが継続して働くことを手厚くサポートする事業（就労定着支援事業）に取り組んでいきたいと考えています。詳細については今後説明会等をおこなっていくことになります。

最後に、先ほどお話した柏原さんのことを書き足しますと、今、彼は前向きにマネージャーの仕事に取り組んでいるようです。選手時代に経験した辛さなど、選手の気持ちがよくわかるといいます。そして、この正月行われた大会でチームは日本一になりました。

いろいろな人との出会いがあり夢がかなった人、進路を変えながらも夢を追いかけていく人、様々な人生を応援するのが私達の仕事です。皆さんの夢や希望を応援できるように、きめ細かい仕事をしていきたいと思った年の始まりでした。

新年の挨拶に代えて／ピアス　副施設長　荒木　浩

編集後記

今回のピアス通信は、東京YMCA学院医療福祉専門学校の職員・メンバーの講演の感想と、就労移行支援の再利用についての特集を、それぞれ企画として記事にしました。先の講演は、毎年の恒例になっていますが、発表されるメンバーの方は、毎回、ご自身が障がいや疾病を抱えながら、将来どのようにして働いていったら良いか、ピアスでの現在のトレーニングを通して振り返っておられます。このように人前で自分の事を語る経験がより自己の理解へと繋がり、就労に向けてのご自分の意思や方向性を確かめることができる良い機会となっているのではないかと思います。

就労移行支援の再利用についての特集は、メンバーも含めた編集委員の会議において、あるメンバーの方が、今関心のあることとして提案をして下さったことをきっかけに、ほぼ全員の編集委員が現在、関心を寄せているテーマであることが分かりました。ピアスの現メンバー、OB、高橋しのぶ施設長へのアンケートやインタビューを通して、メンバーの思いやピアスの考えを記事にしてみました。取材にご協力して下さった方々には感謝申し上げます。

今後も、読者の皆様の参考となるようなピアス通信をお届けできれば幸いです。

（ピアス　下村）

法人ウェブサイトでは

最新の情報をお届けしています。

⇒　www.shuro.jp

『棕櫚亭』で検索！

【編集】国立市富士見台1-17-4
社会福祉法人　多摩棕櫚亭協会
就労移行支援事業所ピアス内
はれのちくもり編集委員会
Tel 042-575-5911
【発行】特定非営利活動法人
障害者団体定期刊行物協会
〒157-0072 世田谷区祖師谷3-1-17-102
Tel 03-6277-9611
【定価】100円